

宮臨技 第3号
令和2年4月2日

会員各位

(一社) 宮城県臨床検査技師会
会長 藤巻 慎一
(公印省略)

令和元年度臨床検査精度管理調査について(統括)

令和元年度臨床検査精度管理調査は一般社団法人宮城県臨床検査技師会の大きな柱の継続事業として31回を迎えることになりました。本年度もこれまで同様、宮城県の共催、公益社団法人宮城県医師会の後援を頂くことができました。

本精度管理事業の特徴として、単に精度管理調査の実施と結果報告で終わることなく、結果を解析し、2次サーベイやフォローアップ研修会、その後の学術研修会での企画内容に反映させております。今後とも臨床検査の品質向上を目指し、本事業に積極的にご参加いただき、自施設の臨床検査の精度向上、標準化に努められるようお願い申し上げます。

一方で、これまでも精度管理調査のレベルを落とすことなく運用見直しなどを実施し、経費の適正化を図ってきましたが、近年の資材運送費および印刷費の高騰、消費税率の上昇などにより、管理運営費は益々増大しています。今年度の経費削減の取り組みとしてはこれまでの報告書(冊子)を廃止し、各施設へ報告書の電子データ(CD)の配布と致しました。この電子データ化により、検査室内全体で広く情報が共有され、画像解説がカラーで確認できる利点もあります。さらに、ホームページ上でも報告書を開示し、精度管理事業のより一層の充実に努めてまいります。

本年度は令和2年3月14日(土)に精度管理報告会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により中止となりました。そのため、精度管理報告書発行と各施設での報告書確認をもって、精度管理報告会と替えさせて頂くとともに、各部門にて、学術研修会の中で精度管理報告・フォローアップ研修会を開催できるように学術部と協力してまいります。精度管理調査に関するご質問、ご意見は精度管理部までお願いいたします。

精度管理報告会の参加者に発行しておりました精度管理報告会参加証は、今年度は特例として全精度管理調査参加施設へ送付致します。この精度管理報告会参加証は日臨技精度保証施設認証の申請に必要ですので、大切に保管して頂きますようお願い致します。認定要件につきましては、日臨技ホームページをご参照下さい。

最後に本調査の企画、立案、分析等実施にご尽力いただきました関係者の方々に、あらためまして感謝申し上げます。令和2年度精度管理調査にもご参加頂きますようによろしくお願い申し上げます。

令和2年4月
一般社団法人宮城県臨床検査技師会
会長 藤巻 慎一
精度管理部長 播磨 晋太郎